

コース分けについて

農業環境工学科の学生のコース分けは、2年生前期開始時点で、自分の将来の進路や興味ある授業科目等を参考に、2つのコースから1つを選択する形で、コース分属の仮決定が行われ【2年指導教員】、2年生後期開始時点でコース分属の正式決定が行われます【2年指導教員】。

※ただし、コース定員と希望者数が大幅に異なる場合は、成績等を考慮して人数の調整を行うので、必ずしも希望のコースとならない場合もあります。

コース概説

コース名	定員	コースの性格	主な就職先
水土環境工学コース	20名程度	地域資源・地域環境の適切な利用と管理，田園空間の総合的デザインに携わる技術者の養成。	国・県・市町村及び各種団体の農村整備関連技術者、調査・設計総合コンサルタント、など。
食料生産システム工学コース	15名程度	圃場機械や栽培・流通施設，廃棄物・バイオマス管理など，食料生産環境システムの機構とその設計，制御に携わる専門技術者の養成。	国、農協等の農業機械・施設分野の技術者，農業機械、農産物貯蔵・流通、施設環境調節、食品加工、関連企業など。

2年生後期開始時点のコース分属決定以後は、原則的にコースの変更（転属）は認めません。ただし、やむを得ない事情があり、変更を希望するコースに欠員がある場合に限り、コース転属を認めることがあります。なお、この場合も3年生後期開始時点以降のコース転属は一切認めません。